

JGAP 指導員基礎研修〈青果物・穀物・茶〉の概要

JGAP 指導員基礎研修の目的

- ① GAP の考え方、仕組み、内容を理解する。
- ② JGAP の管理点、適合基準の全項目をケーススタディーを交えて理解する。
- ③ JGAP 指導方法を学ぶ。
- ④ JGAP 指導員(※)の資格を取る。

※団体内部監査員や審査員をお考えの方は、必須の資格となります。

JGAP 指導員基礎研修〈青果物・穀物 および 茶〉内容

- ・JGAP の概要
 - GAP の基礎とその必要性
 - JGAP 認証とは？
 - 持続可能な農業に向けて
- ・「管理点と適合基準の解説（解説・ケーススタディー・グループワーク）」
 - 共通項目（管理点 1～13）
 - 農業専用項目（管理点 C1～C6）
 - 専用項目（スプラウト類、きのこ類、穀物、精米 および 仕上げ茶）
- ・認証・JGAP 指導員について
 - 審査のタイミング、種類、有効期限、申込方法等
 - JGAP 指導員登録、資格の維持
- ・質疑応答
- ・試験配布・説明
- ・受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

- ・JGAP 指導員基礎研修には持ち帰りの試験があります。。研修終了時に試験用紙を配布いたしますので、解答のうえ、提出期限までに郵送してください。
- ・合格基準は以下の通りです。
 - 研修期間中の出席時間が全体の 90%を超えていること かつ
 - 試験の得点が 80 点を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・採点の結果、合格した受講者には合格証を送付いたします。また、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。（試験受領から合格証送付までにおおむね 1.5 ヶ月の期間を要します）
- ・試験の得点が 80 点未満の受講者は、1 か月以内に 1 度だけ試験を再提出することができます。試験の再提出をしても不合格となった受講者には、修了証を送付いたします。
- ・研修期間中の出席時間が 90%に満たない受講者は、12 か月以内に 1 度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。